製品安全データシート

作成日 2009年 1月20日
改訂日 2011年12月 1日

1.製品及び会社情報

製品名	OSクール工法 上塗材 SUE 主剤 白
会社名	オバナヤ･セメンテックス株式会社
住所	三重県いなべ市北勢町東村 1339
電話番号	0594-72-6488
FAX番号	0594-72-6253
担当部門	製造部 工場管理課
整理番号	M3304－1

2.危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体:	区分3
急性毒性	
経口:	区分外
経皮:	区分外
吸入(ガス):	分類対象外
吸入(蒸気):	区分5
吸入(粉塵、ミスト):	区分外
皮膚腐食性/刺激性:	区分2
眼に対する重篤な損傷性/刺激性:	区分2A
感作性	
呼吸器:	区分外
皮膚:	区分外
生殖細胞変異原性:	区分外
発がん性:	区分外
生殖毒性:	区分1B
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露):	区分1
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露):	区分1
吸引性呼吸器有害性:	区分外
水生環境	
急性有害性:	区分3
慢性有害性:	区分3

GHSラベル要素

注意喚起語:	危険
危険有害性情報:	引火性液体および蒸気 吸入すると有害のおそれ 強い眼刺激 水生生物に有害 生殖能または胎児への悪影響のおそれ 臓器の障害 長期的影響により水生生物に有害 皮膚刺激 長期または反復暴露による臓器の障害

注　意　書　き:≪予防策≫

使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。
熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／工具を使用すること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
保護手袋および保護眼鏡／保護マスクを着用すること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないように、換気装置を使用し暴露を避けること。
取扱い後は、よく手を洗うこと。
指定された以外の材料と混合しないこと。
環境への放出を避けること。

≪対応≫

吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
医師に連絡すること。
皮膚等に付着した場合:皮膚を流水／シャワーで洗うこと。直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の手当てを受けること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の手当を受けること。
飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
口をすすぐこと。
漏　出　し た 場　合:漏出物を回収すること。
火　災　の 場　合:炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いて消火すること。

≪保管≫

涼しく換気の良い場所で、施錠して保管すること。
子供の手の届かない所に保管すること。

≪廃棄≫

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

3.組成・成分情報

化学物質・混合物の区分:　混合物
成分及び含有量
(危険有害性物質を対象):

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	CAS№.	PRTR法
エチルベンゼン	10%	100-41-4	1種 53
キシレン	13.2%	1330-20-7	1種 80
酸化ケイ素	1 ～ 10%	7631-86-9	
酸化チタン	20 ～ 30%	13463-67-7	
酢酸ブチル	10 ～ 20%	123-86-4	

4.応急措置

吸　入　し た 場　合:　蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時には、医師に連絡すること。
蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。
呼吸が止まっている場合は、衣服をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。
嘔吐物は飲み込ませないようにする。
直ちに医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合: 付着物を布にて素早く拭き取る。
大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の手当てを受けること。

目に入った場合: 直ちに大量の清浄な流水で15分以上充分洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
出来るだけ速く医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合: 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の手当てを受けること。
嘔吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5.火災時の措置

消火剤: 炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

使ってはならない消火剤: 水(棒状水、高圧水)

特有の消火方法: 水を消火に用いてはならない。
適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。
可燃性の物を周囲から素早く取り除く。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされている密閉容器は、水をかけて冷却する。
消火作業は可能な限り風上から行う。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項/保護具及び緊急時措置: 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
付近の着火源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

封じ込め及び浄化の方法・機材: 漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。
衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意: 取扱いは、換気の良い場所で行う。
容器はその都度密栓する。
周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用する。
工具は、火花防止型のものを使用する。
作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。
使用済みウエス、塗料カス、スプレーダスト等は、廃棄するまで水に漬けておくこと。
密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業すること。
皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取扱い後は、手・顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まないこと。

保管上の注意: 日光の直射を避け、通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。

8.暴露防止及び保護措置

設　備　対　策: 取扱い設備は、防爆型を使用する。
排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置についてはアースを取るように設備すること。
取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。
屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること。
タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。

管理濃度及び許容濃度:

	管理濃度	許容濃度
エチルベンゼン	設定されていない	50 ppm 日本産業衛生学会 100 ppm ＡＣＧＩＨ(TLV) 125 ppm ＡＣＧＩＨ(STEL)
キシレン	50 ppm	50 ppm 日本産業衛生学会 100 ppm ＡＣＧＩＨ(TLV) 150 ppm ＡＣＧＩＨ(STEL)
酸化チタン	設定されていない	10mg/m^3 ＡＣＧＩＨ(TLV) 1(吸入性粉塵)mg/m^3 日本産業衛生学会 4(総粉塵) mg/m^3 日本産業衛生学会
酢酸ブチル	150 ppm	150 ppm ＡＣＧＩＨ(TLV)

保護具

目の保護具: 保護眼鏡を使用する。

手の保護具: 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

呼吸器の保護具: 有機ガス用防毒マスクを着用する。
密閉された場所では送気マスクを着用する。
スプレー作業を行なう場合には、適切な保護マスクを着用する。

皮膚及び身体の保護具: 取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。又、化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。
静電気塗装作業を行う場合には、通電靴を着用する。

9.物理的及び化学的性質

形　状: 液体

色　: 白色

臭い(臭いの閾値): 溶剤臭

ｐＨ: 情報を有していない

引火点: 26.5℃

爆発特性(下限): 1.0%

密　度: 1.20g/cm^3 (20℃)

10.安定性・反応性

安定性: 常温付近では危険な反応はしない。

避けるべき条件: 高温(40℃以上)にならないようにする。

混触危険物質: 酸化剤、イソシアネート

危険有害な分解生成物: 情報を有していない

11.有害性情報

有害性情報: エチルベンゼン　LD_{50}(経口) 3,500 mg/kg(rat)
キシレン　LD_{50}(経口) 4,300 mg/kg(rat)
酢酸ブチル　LD_{50}(経口) 10,768 mg/kg(rat)

12.環境影響情報

生態毒性: データなし
残留性/分解性: データなし
生体蓄積性: データなし
土壌中の移動性: データなし
他の有害影響: 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。
特に、製品や洗浄水が、地面や川、排水溝に直接流れないように対処すること。

13.廃棄上の注意

残余廃棄物: 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。
容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行なうか、委託すること。
廃塗料等を焼却処理する場合には、有毒ガスを発生するため、適切な洗浄装置のある焼却炉を使用すること。
汚染容器: 内容物を完全に除去した後に処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。

14.輸送上の注意

輸送の特定の安全対策及び条件: 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、容器破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
国内規制: 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
船舶安全法の定めるところに従うこと。
航空法の定めるところに従うこと。
国連番号: 1263

15.適用法令

労働安全衛生法: 第57名称表示物質、通知対象物質
危険物(引火性の物)、有機則(第2種有機溶剤等)
消防法: 第4類第2石油類(非水溶性)
使用時において、都道府県条例に該当する場合、条例に基づき取り扱うこと。

16.その他情報

引用文献 (社)日本塗料工業会「GHS対応MSDS・ラベル作成ガイドブック」
(社)日本塗料工業会「原材料物質データベース」
溶剤ポケットブック
各原材料製造会社の製品安全データシート

本データシートは作成時または改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱い情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。
また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。

製品安全データシート

作成日 2009年 1月20日
改訂日 2011年12月 1日

1.製品及び会社情報

製品名	OSクール工法 上塗材 SUE 硬化剤
会社名	オバナヤ･セメンテックス株式会社
住所	三重県いなべ市北勢町東村 1339
電話番号	0594-82-6488
FAX番号	0594-82-6253
担当部門	製造部 工場管理課
整理番号	M3304－2

2.危険有害性の要約

GHS分類

引火性液体:	区分2
急性毒性	
経口:	区分外
経皮:	区分外
吸入（ガス）:	分類対象外
吸入（蒸気）:	区分3
吸入(粉塵、ミスト):	区分5
皮膚腐食性/刺激性:	区分2
眼に対する重篤な損傷性/刺激性:	区分2A
感作性	
呼吸器:	区分1
皮膚:	区分1
生殖細胞変異原性:	区分外
発がん性:	区分2
生殖毒性:	区分1B
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露):	区分1
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露):	区分1
吸引性呼吸器有害性:	区分外
水生環境	
急性有害性:	区分2
慢性有害性:	区分3

GHSラベル要素

注意喚起語:	危険
危険有害性情報:	引火性液体および蒸気 吸入すると有害 皮膚刺激 強い眼刺激 吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 発がんのおそれの疑い 生殖能または胎児への悪影響のおそれ

臓器の障害
眠気またはめまいのおそれ
長期にわたる、または、反復暴露による臓器の障害
水生生物に毒性
長期的影響により水生生物に有害

注　意　書　き:≪予防策≫
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
容器を密閉しておくこと。
熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
防爆型の電気機器／換気装置／照明機器／工具を使用すること。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
保護手袋および保護眼鏡／保護マスクを着用すること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないように、換気装置を使用し暴露を避けること。
取扱い後は、よく手を洗うこと。
指定された以外の材料と混合しないこと。
環境への放出を避けること。

≪対応≫
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
医師に連絡すること。
皮膚等に付着した場合:皮膚を流水／シャワーで洗うこと。直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の手当てを受けること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は 外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の手当を受けること。
飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
口をすすぐこと。
漏　出　し た 場　合:漏出物を回収すること。
火　災　の 場　合:炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いて消火すること。

≪保管≫
涼しく換気の良い場所で、施錠して保管すること。
子供の手の届かない所に保管すること。

≪廃棄≫
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

3.組成・成分情報

化学物質・混合物の区分: 混合物
成分及び含有量
(危険有害性物質を対象):

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	CAS№.	PRTR法
HMDI	1.3%	822-06-0	1種 391
エチルベンゼン	12.6%	100-41-4	1種 53
キシレン	6.1%	1330-20-7	1種 80
ポリイソシアネート化合物	40 ～ 50%	非公開	
酢酸エチル	20 ～ 30%	141-78-6	
酢酸ブチル	1 ～ 10%	123-86-4	

4.応急措置

吸入した場合: 蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時には、医師に連絡すること。
蒸気、ガス等を大量に吸い込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所に移し、暖かく安静にする。
呼吸が止まっている場合は、衣服をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。
嘔吐物は飲み込ませないようにする。
直ちに医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合: 付着物を布にて素早く拭き取る。
大量の水及び石鹸又は皮膚用の洗剤を使用して充分に洗い落とす。溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の手当てを受けること。

目に入った場合: 直ちに大量の清浄な流水で15分以上充分洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。
出来るだけ速く医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合: 誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の手当てを受けること。
嘔吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5.火災時の措置

消火剤: 炭酸ガス、泡、粉末、乾燥砂

使ってはならない消火剤: 水(棒状水、高圧水)

特有の消火方法: 水を消火に用いてはならない。
適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。
可燃性の物を周囲から素早く取り除く。
指定の消火剤を使用すること。
高温にさらされている密閉容器は、水をかけて冷却する。
消火作業は可能な限り風上から行う。

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項/保護具及び緊急時措置: 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
付近の着火源・高温体及び付近の可燃物を素早く取り除く。
着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

環境に対する注意事項: 流出した製品が河川や下水等へ排出され、環境に影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材: 漏出物は密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。
付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。
衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。
乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させて回収する。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意: 取扱いは、換気の良い場所で行う。
容器はその都度密栓する。
周辺での火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。
静電気対策のため、装置等は接地し、電気機器類は防爆型(安全増型)を使用する。
工具は、火花防止型のものを使用する。
作業中は、帯電防止型の作業服、靴を使用する。
使用済みウエス、塗料カス、スプレーダスト等は、廃棄するまで水に漬けておくこと。
密閉された場所における作業には、十分な局所排気装置を付け、適切な保護具を付けて作業すること。
皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、目に入らないよう保護具を着用する。
取扱い後は、手・顔等をよく洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ち込まないこと。

保管上の注意: 日光の直射を避け、通風のよいところに保管する。
火気、熱源から遠ざけて保管する。

8.暴露防止及び保護措置

設備対策: 取扱い設備は、防爆型を使用する。
排気装置を付けて、蒸気が滞留しないようにする。
液体の輸送、汲み取り、攪拌等の装置についてはアースを取るように設備すること。
取扱い場所の近くには、高温、発火源となるものが置かれないような設備とすること。
屋内塗装作業の場合は、自動塗装機等を使用するなど、作業者が直接暴露されない設備とするか、局所排気装置等により作業者が暴露から避けられるような設備にすること。
タンク内部等の密閉場所で作業する場合には、密閉場所の底部まで十分に換気できる装置を取り付けること。

管理濃度及び許容濃度:

	管理濃度	許容濃度
HMDI	設定されていない	0.005 ppm ＡＣＧＩＨ(TLV)
エチルベンゼン	設定されていない	50 ppm 日本産業衛生学会 100 ppm ＡＣＧＩＨ(TLV) 125 ppm ＡＣＧＩＨ(STEL)
キシレン	50 ppm	50 ppm 日本産業衛生学会 100 ppm ＡＣＧＩＨ(TLV) 150 ppm ＡＣＧＩＨ(STEL)
酢酸エチル	200 ppm	200 ppm ＡＣＧＩＨ(TLV)
酢酸ブチル	150 ppm	150 ppm ＡＣＧＩＨ(TLV)

保護具

目の保護具: 保護眼鏡を使用する。

手の保護具: 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。

呼吸器の保護具: 有機ガス用防毒マスクを着用する。
密閉された場所では送気マスクを着用する。
スプレー作業を行なう場合には、適切な保護マスクを着用する。

皮膚及び身体の保護具: 取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。又、化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。
静電気塗装作業を行う場合には、通電靴を着用する。

9.物理的及び化学的性質

形状: 液体

色: 無色

臭い（臭いの閾値）: 溶剤臭

ｐＨ: 情報を有していない

引火点: 7.0℃

爆発特性（下限）: 1.0%

密度: 0.99g/㎤（20℃）

10.安定性・反応性

安定性: 常温付近では危険な反応はしない。

避けるべき条件: 高温(40℃以上)にならないようにする。

混触危険物質: 酸化剤、水、アルコール

危険有害な分解生成物: 情報を有していない

11.有害性情報

有害性情報:	HMDI	LD_{50}(経口)	710 mg/kg(rat)
	エチルベンゼン	LD_{50}(経口)	3,500 mg/kg(rat)
	キシレン	LD_{50}(経口)	4,300 mg/kg(rat)
	酢酸エチル	LD_{50}(経口)	5,620 mg/kg(rat)
	酢酸ブチル	LD_{50}(経口)	10,768 mg/kg(rat)
発がん性:	エチルベンゼン	IARCカテゴリー	2B

12.環境影響情報

生態毒性: データなし
残留性/分解性: データなし
生体蓄積性: データなし
土壌中の移動性: データなし
他の有害影響: 漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。
特に、製品や洗浄水が、地面や川、排水溝に直接流れないように対処すること。

13.廃棄上の注意

残余廃棄物: 廃塗料、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。
容器、機械装置等を洗浄した排水等は、地面や排水溝へそのまま流さないこと。
排水処理、焼却などにより発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行なうか、委託すること。
廃塗料等を焼却処理する場合には、有毒ガスを発生するため、適切な洗浄装置のある焼却炉を使用すること。

汚染容器: 内容物を完全に除去した後に処分する。
許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理をする。

14.輸送上の注意

輸送の特定の安全対策及び条件: 取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。
容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、容器破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

国内規制: 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる運送方法に従うこと。
船舶安全法の定めるところに従うこと。
航空法の定めるところに従うこと。

国連番号: 1263

15.適用法令

労働安全衛生法: 第57名称表示物質、通知対象物質
危険物(引火性の物)、有機則(第2種有機溶剤等)

消防法: 第4類第1石油類(非水溶性)
使用時において、都道府県条例に該当する場合、条例に基づき取り扱うこと。

16.その他情報

引用文献: (社)日本塗料工業会「GHS対応MSDS・ラベル作成ガイドブック」
(社)日本塗料工業会「原材料物質データベース」
溶剤ポケットブック
各原材料製造会社の製品安全データシート

本データシートは作成時または改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。
また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行って下さい。